

氏名	長 花 晴 樹		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 1657 号		
学位授与の日付	昭和61年 6 月 30 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）		
学位論文題目	心房中隔欠損症（二次孔開存）の体表面電位図		
論文審査委員	教授 寺本 滋	教授 木村郁郎	教授 太田善介

学位論文内容の要旨

心房中隔欠損症（二次孔開存）を対象に、右室負荷の電位図変化を検討した。ASD 42例を、右室収縮期圧によって2群に分類、検討した。さらに、根治手術を行った20例および器質的疾患を認めない不完全右脚ブロック23例についても電位図を記録し、対比検討した。

1. ASDの右室容量負荷の影響は、電位図上陽性電位として右前胸部（右中腋窩線から前正中線まで）の領域の誘導に、陰性電位として左腋窩部（左鎖骨中線から左後腋窩線まで）の領域の誘導に反映された。
2. ASDの右室容量負荷に圧負荷を伴うと、陽性および陰性電位の影響は、それぞれ上述の部位より広い範囲の誘導に反映された。
3. ASD 42例で、右室収縮期圧と最も相関の良い誘導点の組み合わせは、D 3、D 4およびD 5の誘導点の最大陽性電位とF 3、F 4およびG 3の誘導点の最大陰性電位の総和であった。
4. 根治手術前後のパターンに大きな差は見られなかったが、Breakthrough minimumの出現部位は術後右方に偏位した。

論文審査の結果の要旨

本研究は右室負荷疾患である心房中隔欠損症42例を対象として、体表面電位図を記録、検討したものであって、右室容量負荷および圧負荷の影響ならびに手術との関連について、重要な知見を得たものであって価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。